

令和 6 年飯山市野々海川土砂崩落経過報告【第 2 報】

令和 6 年 (2024 年) 5 月 14 日現在

1、発災時等経過

(1) 発災時の状況

4 月 12 日 (金) 西大滝区民から野々海川の濁りを区長へ報告

4 月 13 日 (土) 西大滝区でドローン調査し、野々海川上部で土砂崩落を確認

4 月 15 日 (月) 西大滝区長から飯山市へ状況報告

※以後、北信地域振興局、北信建設事務所、飯山市、西大滝区で
連携して調査、応急対応

(2) 土砂災害の規模 北信地域振興局で調査中

2、本部の体制

4 月 15 日 (月) 17:50 飯山市警戒本部 設置

3、会議等の開催

4 月 16 日 (火) 13:00 警戒本部会議 (第 1 回)

4 月 19 日 (金) 18:00 住民説明会

北信地域振興局、北信建設事務所、飯山市、西大滝区民等

4 月 23 日 (火) 8:35 警戒本部会議 (第 2 回)

5 月 13 日 (月) 9:15 庁議 (大雨情報による対応方針を協議)

5 月 14 日 (火) 13:00 警戒本部会議 (第 3 回)

5 月 14 日 (火) 18:00 西大滝評議委員会説明会

4、避難情報の発令 なし

5、避難所の開設

4 月 15 日 (月) ~22 日 (月) まで終日、岡山地区活性化センターを
自主避難所として開設

4 月 23 日 (火) 以降、一旦閉所。

※今後、大雨や長雨などによる天候悪化や区からの要望に応じて適宜開設予定

6、交通規制等

4 月 17 日 (水) 野々海川上流へ向かう市道 10-370 号を通行止め

7、被災状況

人的被害、家屋等の被害、道路等被害、農業施設、
農作物等被害、公共施設の被害 なし

8、対応状況

【北信地域振興局（林務課）】

- ・4/22～現地測量調査、調査結果をもとに今後の応急、復旧方法を検討
- ・5/1 現地測量調査の速報を市担当課へ説明

【北信建設事務所（整備課）】

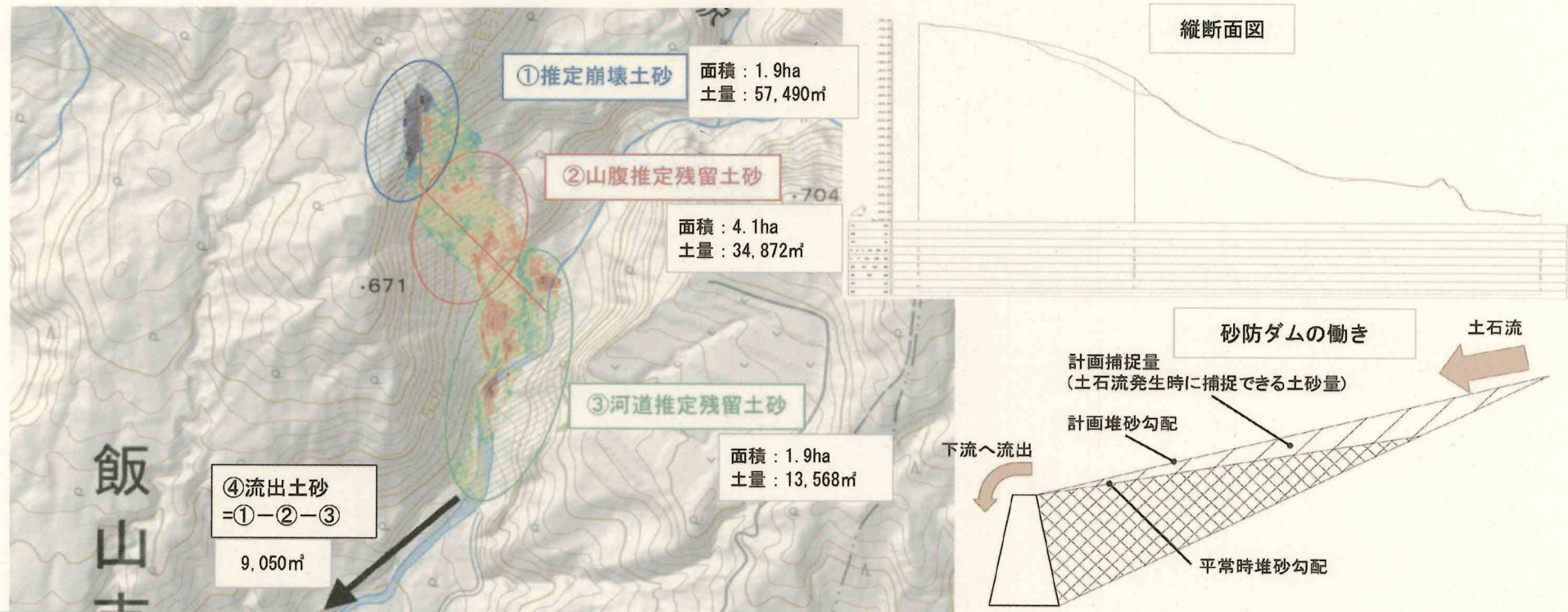
- ・4/16～警報センサー2か所、赤色灯・サイレン3カ所設置
- ・4/26～監視カメラ設置
- ・緊急時の関係機関連絡体制の整備

【飯山市】

- ・4/15～22 岡山活性化センターに自主避難所開設（終日）
- ・4/15～26 ドローンによる現場調査（天候に応じ適時実施）
- ・5/2 現地測量調査結果の速報を区長他へ説明

野々海川山腹崩壊 緊急調査結果報告

【R6.5.14 長野県 林務課】



○令和3年度測定データと令和6年4月22日測定データとの差分解析による考察

- 1 推定崩壊土砂量57,490m³の内、6割の34,872m³が山腹面に残っているが、崩壊面の勾配は2割勾配(水平に2m行って1m下がる)以下になっており、道路の盛土勾配より緩い勾配に落ちていて、急激な流下は考えにくい。
- 2 崩壊地から河道まで達した土砂量は22,618m³と推定される。その内4割の9,050m³は砂防ダムから下流へ流出したものと推定される。
- 3 河道に残留した土砂は、計画捕捉量(21,759m³)の範囲内に収まっている。

○今後の予定

- 1 現状の残留土砂を評価するため、今後災害級の雨が降った場合にどうなるか、崩壊地から千曲川出口まで土砂流出シミュレーションを実施します。
- 2 6月下旬に住民の皆様へ土砂流出シミュレーション結果を報告できるようにします。
- 3 シミュレーション結果をもとに今後の対策を検討します。

運上川（上境）土砂崩落 経過報告

令和6年（2024年）5月21日現在

1. 発災および対応経過

5月14日（火）

6:45 耕作者より田の畦畔が崩落し、運上川を塞いでいる旨の連絡

7:40～ 市（農林課、道路河川課）および県（北信地域振興局農地整備課、北信建設事務所）により現地確認、対応協議

5月15日（水）

北信建設事務所による応急復旧（河川内土砂撤去、仮排水路掘削）対応開始

5月16日（木）

北信建設事務所による応急復旧（ ） 〃 （ ） 対応完了

2. 被災状況

水田法面崩落（1枚）および運上川閉塞（人的被害および家屋・道路・公共施設等被害なし）

3. 交通規制

5月14日17:30 県道箕作・飯山線（川面集落北～湯滝橋）通行止措置

16日10:00 〃 通行止解除

4. 今後の対応

県（北信地域振興局 農地整備課）による被災箇所ボーリング調査（5/21～）、調査結果に基づく復旧方法の検討

